



校友さんしや

題字：元総長・細野 武男氏

2026
Summer

2026年8月1日発行

Vol.
67

- SanShaサロン2026in神戸・開催案内
- 首都圏産社交流会・開催案内
- 産社校友のお店紹介
- 新学部長紹介
- 2026年度着任教員 ご紹介

- 産社の先生が書かれた著書のご紹介
- 同窓会開催補助のご案内 他

2026
10/3

開催案内

SanShaサロン2026 in 神戸

※画像はイメージです

今回は、校友会会長のお膝元でもある神戸の街で開催できますこと、企画メンバー一同、格別の思いを込めて準備を進めております。

神戸の風を感じながら、懐かしい仲間との再会、そして新しいご縁をぜひこの機会にお楽しみください。初めてご参加される方、お一人でのご参加も、もちろん大歓迎です。

皆さまとお会いできることを、心より楽しみにしております。



皆さん、暑さ厳しい中、いかがお過ごしでしょうか。

「SanShaサロン」は、世代を超えた校友の皆さまが一堂に会する交流の場として、毎年開催してまいりました。昨年は、京都にて、多くの校友の皆さまにお集まりいただき、新たなご縁を結び、和やかなひとときを過ごすことができました。

そして今年は、「SanShaサロン2026 in 神戸」を開催する運びとなりました。異国情緒とモダンな街並みが調和する港町・神戸。海と山に抱かれたこの美しい街には、京都とはまた違った魅力があり、初めて訪れる方にもきつとお楽しみいただけることと思います。美味しいお料理と美しい景色に囲まれながら、旧交を温め、新たな出合いを育む一日にしたいと思います。

場所 ラスイートルパンビル
(三宮駅前より無料送迎シャトルバス)

日付 2026年10月3日(土)

時間 13:00～15:00(予定) 受付12時30分～

定員 40人
※産社校友、または産社校友と同伴のご家族、
ならびに立命館大学校友

会費 大人4,000円 学生2,000円 未就学児無料

申込方法 8月1日よりエントリーフォームにて
※定員に達し次第終了

託児所開設 ■要予約
■無料

託児のお申込み方法はエントリー後に
産社事務局よりご連絡いたします。



エントリーフォーム

開催案内

首都圏産社交流会企画

築地さらしなの里

2023年より毎年賑やかに開催されて参りました「首都圏産社イベント」ですが、本年より産社校友会の正式イベントとして公認される運びとなりました。

これまで毎年会場にご指名いただいております「築地さらしなの里」店主の赤塚滋行(97年卒・林堅太郎ゼミ)です。本年度より産社校友会役員を務めさせていただくことになりまして、皆さまにご挨拶を兼ねて、本年の開催をご案内申し上げます。本場「とむぎの杜」に、本店は立命館同窓生の「溜まり場」として認知されつつあるようで、学部や団体、ご年齢を問わず、多くの同窓の皆さまにお集まりいただき、その人数と回数も増加の一途となっております。いつも懐かしい学生時代のお話をさせていただき、夜な夜な大いに盛り上がりしておりますことに、心より感謝申し上げます。

本年度は2025年11月に就任された、梶岡修一産社校友会新会長(88年卒、現在神戸新聞社社長)をお迎えする予定です。新体制の門出を祝うとともに、いつものように「ご紹介があれば産社以外の同窓生も大歓迎」という、非常に懐の広い産社マインドあふれる会といたします。

世代を超えて校友の絆がさらに深まる、熱く楽しい一夜にしたいと考えております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



場所

築地さらしなの里

地下鉄日比谷線築地駅 徒歩1分
地下鉄有楽町線新富町駅 徒歩3分

日付

2026年11月20日(金)

時間

19:00~21:00(予定) 受付18時30分~

定員

30人

※産社校友、または産社校友と同伴のご家族、
ならびに立命館大学校友

会費

大人3,000円 学生1,500円 未就学児無料

申込方法

8月1日より、右記エントリー
フォームにて

※定員に達し次第終了



エントリーフォーム



産社校友のお店紹介

箕輪愛さん(2000年卒)が経営されている「はとむぎの杜」は、「はとむぎで人々を健康に」をコンセプトにした、はとむぎ専門店です。自社で有機栽培したはとむぎを使用し、さまざまなはとむぎ製品を店頭とオンラインショップで販売されています。また、はとむぎ料理教室や薬膳料理教室、みそ教室などの各種ワークショップも開催され、地域に根ざした交流の場として親しまれています。

箕輪さんは全国でウォーキング講師として活動し、運動を通じた健康づくりにも尽力されています。一方で、ご主人の会社では「はとむぎ夫人」として食の健康を支え、運動と食の両面から人々の健康をサポートするなど、多方面で活躍されています。

笑顔でお客様を迎え、地域と人々の健康を支えるお姿は、産社校友会としても大変うれしいニュースです。お近くへお出かけの際は、ぜひ一度足を運んでみてください。



店舗情報

はとむぎの杜
東生駒店・奈良店





NAGAHASHI
TAMESUKI

立命館大学 産業社会学部長
永橋 爲介(ながはしためすけ)

- 1998 京都大学大学院農学研究科博士課程修了(農学博士)
日本学術振興会特別研究員 (PD) (～2000)
- 1999 カリフォルニア大学バークレー校客員研究員(～2000)
各大学非常勤講師、NPOコーディネーターなど
- 2008 立命館大学産業社会学部 准教授
- 2012 カリフォルニア大学バークレー校客員研究員(～2013)
- 2014 立命館大学産業社会学部 教授
学部改革担当副学部長
- 2020 立命館大学産業社会学部現代社会専攻長
- 2026 立命館大学産業社会学部長

学部長就任のご挨拶

産社1期生のみなさんが卒業された1969年生まれです。晴天の霹靂でこの4月から3年間、学部長を務めることになりました。どうぞよろしく願い申し上げます。

さてさて、2011年3月卒業のゼミ1期生をはじめ2010年前半から中頃に卒業したゼミ生たちは子育て真っ盛りです。子どもが生まれる度に写真と連絡をもらいます。誕生のお祝いに、絵本をプレゼントしています(最近『ぐりとぐら7冊シリーズ』を贈ることが多いです。ゼミ生自身が小さい頃、読んだ経験があるので)。「赤ちゃんは目が見えなくても耳は聞こえるし、親の楽しい気持ちに反応するはず!一緒に楽しんで!」と伝えていきます。すると、赤ちゃん向けの絵本よりも「ぐりとぐら」への反応の方が良いようです。「私自身が楽しみながら読んでいますからですかね?子どもが反応するので、さらに読むのが楽しくなります!」とのこと。「小学校高学年の我が子、当時の私よりも本をよく読んで

います!」という報告も嬉しいものです。

最近の学生さん、驚くほど本を読んでいます。漫画すら読まない人が増えています。本好きを増やしたいと思って、子どもが生まれたゼミ生に絵本を贈るようにしましたが、1つ思いついたことがあります。校友のみなさんが20歳前後に読んだ本や漫画で今でも心に残っているものは何か、ご紹介いただきたいのです。いつ、どこでその作品と出会い、なぜ今でも心に残っているのか、縷々(るる)語っていただけないでしょうか?紹介された本や漫画を現役生が手にとって読んでくれたらどんなに素敵なことか!この試み、現役生が校友会の存在を身近に感じ、世代を超えてつながる糸口になるのではないかと思います、書かせていただいた次第です。学部と校友会との協働や連携、ぜひ豊かにしていけたらと思っています。引き続きのご指導、ご鞭撻、よろしくお願ひ申し上げます。

2026年度着任教員 ご紹介

おおさわ さとし
大澤 聡 先生
メディア社会専攻

- <研究テーマ>
メディア史、思想史、出版論(おもに近現代日本の言論環境)
- <経歴>
2012年 東京大学大学院 総合文化研究科
博士課程 修了 博士(学術)

メディア社会専攻に着任いたしました大澤聡と申します。専門はメディア史です。おもに日本の雑誌や出版を対象に、文字メディアまわりの来歴や思想史を研究してきました。講義ではメディアの過去を題材にすることが多いのですが、現代社会の動向や最新のメディア環境とのつながりにアクセントをおきつつ、他領域の知見をかみくだいて応用した解説を心がけています。新聞連載では最新のトピックを論評する仕事なども行なっております。

社会と教育にかかわる面という『教養主義のリハビリテーション』(筑摩書房)は教養教育や教養主義を歴史と現状との両面から検討したわたしの成果のひとつです。最終章ではデジタル時代の「調べる」行為につきまとう、データベースの外部がうっかり見えなくなってしまう罠(調べたけれど、なかった)に触れています。そこから七、八年がたったいまなら、まちがいにAIが論点に食いこんできます。メディア環境の激動を見えて、新たな教養のかたちを社会に提言してゆけたらと考えております。

立命館大学との接点でいえば、日本思想史も専門にしていることもあり、偶然ですが過去には、法学者の末川博や哲学者の舩山信一といった歴任教員の戦前期の活動を論文であつたこともあります。また、学部こそ異なりますが妻が本学出身者で、充実した学生生活の思い出を二十数年にわたって聞かされてきましたので、よい印象がすっかり植えつけられています。産社校友会のみなさまと交流する機会がもてますこと、心よりのしみにいたしております。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

OSAWA SATOSHI



産社の先生が書かれた 著書のご紹介

新書

新しいリベラル

——大規模調査から見た「隠れた多数派」

著者 橋本努先生、金澤悠介先生（産社）

出版社…筑摩書房
発売日…2024年6月11日
価格…一、三二〇円（税込）



「新しい」政治が始まる！
実は日本には「新しいリベラル」と
言いうる人々が存在することが、七
千人を対象とする社会調査から浮
かび上がってきた。
この人たちが求めるのは、私たち
の「成長」をサポートする政治だ。
「新しいリベラル」は最多数派を占
めるのに、これまで見落とされてき
たのはなぜか？「従来型リベラル」
や保守層など他の社会集団と比較
しながら、「新しいリベラル」が日本
政治に与えるインパクトと可能性を
示す。
「新しいリベラル」の実像と可能性
を明らかにした、初めての書！

文庫本

定本 批評メディア論

——戦前期日本の論壇と文壇

著者 大澤聡先生

出版社…岩波書店
発売日…2024年1月18日
価格…一、七三八円（税込）



「論壇」「文壇」とは何か。日本にお
いて「批評」はいかにして可能か。言
論を支えてきたインフラやシステム
の生成過程にさかのぼることから
再起動しなければならぬ。膨大な
資料博覧に裏づけられた圧倒的
な文力で知の基本構造をえぐり出
す。
注目を集める批評家による著書
が、全面的な改稿をへて「定本」とし
て再生する。

訃報

きづがわけい
木津川 計先生

2026年4月16日に永眠されました
享年90歳

本学名誉教授で元産業社会学部教授の木津川計（きづがわけい）
先生がご逝去されましたこと、ここに謹んでお知らせいたします。
なお、葬儀・告別式は、近親者のみで執り行われました。

産業社会学部校友会 同窓会開催補助のご案内

産社校友会では、校友相互の交流促進の支援を趣旨として『小集団クラス
同窓会補助制度』を設けています。小集団クラスとは、産社在学時の「基礎
演習」「プロジェクトスタディ」「専門演習」「卒業研究」などのグループ・
集団を指し、現役学生時代にこれらに所属された校友の方々が同窓会を開催
される場合に、産社校友会より右記金額の補助を行うものです。同一学年の
開催だけでなく、複数学年の合同開催等も対象になります。

内 容

参加人数6人（教員含む
も可）以上の同窓会を補
助対象とする（参加人数
5名以下、または小集団
クラスでない友人同士の
集まりなどは対象外とな
ります）。

対象となる同窓会

補助申請にあたっては、小
集団クラス担当の教員の承
認を条件とする（但し、担
当教の教員の承認を条件と
する（但し、担当教員が物
故者であるなど、承認を得
ることが困難な場合は事務
局にご相談願います）。

対象となる経費

同窓会開催案内の郵送
料や印刷費、会場費等。

補助金額

参加者数	補助内容
6名～50名 の場合	1人につき2,000円を上限と し、同窓会1回あたり5万 円を上限として実費を補助
51名～100名 の場合	一律7万円の補助
101名以上 の場合	一律10万円の補助

申請方法

開催1ヶ月前までに、産社校友会事務局宛に所定の
申請書を郵送で提出いただく必要があります。
詳細については産社校友会ホームページ、または右記
QRコードをご利用ください。（様式もダウンロードで
きます）



産社校友会
ホームページ

産社の最新情報を産社校友会公式web、公式SNSでcheck！

産社校友会

検索

facebook@sanshaalumni

検索

ID:@sanshareunion

ID:@wli8886c

webサイト



公式facebook



公式Instagram



公式LINE



「校友さんしゃ」

（立命館大学産業社会学部校友会会報）

2026年8月1日発行 第67号

（発行人）

（編集人）

（発行所）

立命館大学産業社会学部校友会広報担当
（久田智史、利國なつ希、飯田正志および事務局）

立命館大学産業社会学部校友会

〒603-8577 京都市北区等持院北町56・1
TEL 075 (465) 81185 (直)
FAX 075 (465) 81169
E-mail reunion@st.ritsumei.ac.jp

編集室より

▽今回の記事にありますように、産業社会学部はこの4月から、新たに永橋学部長が就任されました。また産業社会学部校友会も梶岡会長による新体制がスタートしており、新たな10年へ向けて、永橋学部長のメッセージにもあるように、これまで以上に連携や協力を進めていくことが重要であり、本誌「校友さんしゃ」がその橋渡しとなる存在として、ますます重要な意味を持つのではないかと考えます。

▽今回紹介している「Sanshaサロン」や「首都圏産社交流会企画」でも、単に卒業生が集まるだけではなく、現役の先生方にもぜひ参加いただき、連携や協力を深めていければと考えています。こうした交流の輪がさらに広がり、産業社会学部と産社校友会のつながりが一層深まることを願っています。

第66号「校友さんしゃ」におきまして、次の通り誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

●P2 産業社会学部校友会総会開催報告・会長写真経歴
誤）梶岡修一（1986年卒）
正）梶岡修一（1988年卒）